

## 1 国語に関する調査

### 【特長】

- ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかを見る問題の正答率が高い。小説文の学習において場面の展開や登場人物の心情等について、1年次より系統立てた指導を行ってきた成果と言える。
- ・自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫できるかどうかを見る問題の正答率が高い。日頃より文章構成を考えさせる指導を行ってきた成果と言える。

### 【課題】

- ・文脈に即して正しい漢字を使うことに課題が見られる。漢字の書き取りを継続しているが、漢字や熟語を文中で正しく使うことができるよう指導の工夫をする。
- ・文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることや、自分の考えまとめて書くことに課題が見られる。普段の授業から、根拠を基に考えを表現できるよう指導の改善を図る。

## 2 数学に関する調査

### 【特長】

- ・多角形の外角の大きさを求める問題の正答率が比較的高い。授業で様々な形の図形を取り上げたり、解に至るまでの考え方を何通りか考えて共有し合ったりすることで、互いに学び合い、数学的思考を深めることができたと考えられる。
- ・必ず起る事柄の確率について理解している。樹形図や表を使うことの良さを考えたり、条件を変えて実際の硬貨やサイコロを用いて実験的に授業を行ったりすることで、その分野の理解と興味・関心がより高まったためと考えられる。

### 【課題】

- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題で、無解答の割合が高い。身近な問題を数学的課題として捉え、解決する授業実践を年間計画に組み込んでいく必要がある。
- ・式の意味を読み取り、数学的な表現を用いて説明することに課題が見られた。証明問題における見通しや記述方法が十分に定着していないためと考えられる。意図的に確認・復習する機会を設けて、学力の定着を目指す。

## 3 理科に関する調査

### 【特長】

- ・電気回路における抵抗に関する問題の正答率が高い。考察とともに、実際の実験、振り返りというプロセスを踏んだことが、学力の定着と興味・関心の高まりにつながったと考えられる。

### 【課題】

- ・観察した水の中の生物が呼吸を行う生物か否かについて、これまで理科で学習したことを活用して、生命を維持する働きと関連付けて説明することに課題がある。生物の共通点や相違点を挙げ、生命を維持する働きに関する知識を基に、いろいろな生物について考察する学習場面を設ける。

#### 4 生徒質問紙の結果より

##### 【特長】

- ・学級の仲間との話し合い活動を通して、新たな気づきが得られたり、自分の考えを深めたりできていると感じている生徒の割合が高い。また、自分と異なる意見を考えることに対して、多くの生徒が「楽しい」と捉えている。教科学習や総合的な学習の時間等で積み重ねてきた経験の成果と考えられる。
- ・友達関係に満足している生徒の割合が高い。いじめは絶対に許されないことを理解し、困っている人を助けようという気持ちを根底に据えて、良好な人間関係を築いている生徒が多い。

##### 【課題】

- ・毎日同じ時刻に寝て、起きる等、規則正しい生活習慣が確立している一方で、朝食を全く摂らない生徒や生活リズムの不調を自覚している者も一定数いる。健康観察により体調の変化と心の変化をきめ細やかに観察するとともに、自分自身で健康な体、心のバランスづくりに取り組めるよう、指導していきたい。
- ・読書への関心が低く、「全くしない」と回答した生徒の割合が高い。教科指導で扱うだけではなく、本に実際に触れて、自らが読書したくなるような学校図書館利用を促していきたい。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・学校教育目標の実現に向けて、教職員がそれぞれの立場で子どもたちを見守り、声をかけ、励まし支援しながら、これまで以上に温かい学校づくりに努める。
- ・授業では、根拠を基にした個の考え方を教師がファシリテーターとして引き出しながら、生徒が互いに学び合い、深め合う学校集団を作りたい。学校生活のあらゆる場面で、教職員がそのことを理解し、心豊かな生徒を育てることができるようにする。
- ・できたことを大いに褒めたり、結果がでなくてもそのプロセスを認めたりして、自己肯定感・自己有用感を育てたい。学校教育目標にある「夢と志」を持ちながら、卒業後の適切な進路選択ができるよう、個人の良さを大切に伸ばしていきたい。
- ・生徒が自身の安心・安全について考えて行動できるよう、機会を捉えて指導していく。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・インターネットには利便性がある一方で、危険も潜んでいます。家庭内ルールを設けて、中学生という大人への大切な過渡期に、生活リズムの乱れが生じたり、犯罪被害に巻き込まれたりしないようにしましょう。
- ・学校生活では、お子さまが、自分とともに他者を大切にする社会性を育むよう取り組んでいます。お子さまの良いところを学校・家庭がともに認めて、さらなる成長を見守りましょう。
- ・地域や社会に关心を持ち、将来、地域を担う大人になることを願っています。今後とも地域クリエーションやボランティアへの参加をお願いします。